

区分	主な特徴
がん	<ul style="list-style-type: none"> ▶ （東葛南部保健医療圏） 地域がん診療連携拠点病院として、船橋市立医療センター、市川総合病院、順天堂大学浦安病院が指定を受け、専門的ながん医療の提供等を行うとともに、他のがん診療を行っている医療機関との連携体制を構築している。また、千葉県がん診療連携協力病院として医療圏内の5病院が指定を受けている。（千葉県保健医療計画） ▶ （船橋市） 地域がん診療連携拠点病院である船橋市立医療センターが、地域のがん医療の拠点として、自ら専門的な医療を行うとともに、各部位のがん対応医療機関やかかりつけ医等との連携、医療従事者の研修、患者・家族への情報提供、相談支援等の役割を担っている。特定のがんについては、がん診療連携拠点病院を補完する病院として、船橋中央病院、千葉徳洲会病院が千葉県がん診療連携拠点病院として指定されている。（千葉県保健医療計画） ▶ （船橋市立医療センターの対応） 地域がん診療連携拠点病院として、各臓器、各疾患によってエビデンス(科学的根拠)に基づいた最新の治療を提供している。国立がんセンターやその他の全県（複数圏域）対応型がん診療連携拠点病院と情報交換を行うことにより、患者主体のよりよい医療を推進している。また、緩和ケア病床（20床）を有し、緩和ケア診療を実施している。（船橋市立医療センターHP）
5疾病 脳卒中	<ul style="list-style-type: none"> ▶ （東葛南部保健医療圏） 脳卒中急性期対応医療機関（21施設）が、かかりつけ医からの紹介や救急隊による搬送患者に対して、脳卒中に係る専門的な治療を行っている。また、地域リハビリテーション広域支援センターとして新八千代病院が指定されている。（千葉県保健医療計画） ▶ （船橋市） 脳卒中に係る専門的な治療を行う急性期治療に対応可能な脳卒中急性期対応医療機関が市内に7病院あり、かかりつけ医からの紹介や救急隊による搬送患者に対応している。また、回復期リハビリテーション対応医療機関として、回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関が4施設ある。（千葉県保健医療計画） ▶ （船橋市立医療センターの対応） 脳卒中急性期対応医療機関であるとともに、全県（複数圏域）対応型脳卒中拠点病院として、高度の脳卒中治療とリハビリテーションに対応し、関係医療機関と連携して、県内の脳卒中の医療水準の向上等に取り組んでいる。
急性心筋梗塞	<ul style="list-style-type: none"> ▶ （東葛南部保健医療圏） 急性心筋梗塞対応医療機関（急性期）（12施設）が、かかりつけ医の紹介や救急隊による搬送患者に対して、急性心筋梗塞に係る専門的な治療を行っている。また、急性心筋梗塞対応医療機関（回復期）（3施設）が、心機能の回復や当該疾患の再発予防等のため、「心大血管疾患リハビリテーションⅠ、Ⅱ」を届出し、個々の患者に合わせた運動療法等を行っている。（千葉県保健医療計画） ▶ （船橋市） 急性心筋梗塞対応医療機関（急性期）が市内に5病院あり、かかりつけ医の紹介や救急隊による搬送患者に対して、急性心筋梗塞に係る専門的な治療に対応している。また、心機能の回復や当該疾患の再発予防等のため、個々の患者に合わせた運動療法

		<p>等を行う急性心筋梗塞対応医療機関（回復期）が2施設ある。（千葉県保健医療計画）</p> <p>▶ （船橋市立医療センターの対応） 急性心筋梗塞対応医療機関であるとともに、全県（複数圏域）対応型連携拠点病院として、高度の急性心筋梗塞の治療等に対応し、他の急性心筋梗塞対応医療機関と連携し、県内の急性心筋梗塞医療水準の向上等に取り組んでいる。また、急性心筋梗塞対応医療機関（回復期）として、「心大血管疾患リハビリテーションI」の届け出を行っている。</p>
糖尿病		<p>▶ （東葛南部保健医療圏） 糖尿病の専門的な管理を行う医療機関、合併症の治療機能を有する病院、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、薬局等など、糖尿病医療を提供する各機関に加え、居宅介護支援事業所等の連携により体制が構築されている。（千葉県保健医療計画）</p>
		<p>▶ （船橋市） 糖尿病の専門的な管理を行う医療機関として「糖尿病専門外来」（6施設）、「糖尿病教育入院」（13施設）、「糖尿病日帰り教室」（4施設）があり、合併症の治療機能を有する病院「網膜症」（6施設）、「神経症状」（7施設）、「腎症」（7施設）、「壊疽・壊死」（7施設）、「歯周病治療」（2施設）が対応している。（千葉県保健医療計画）</p>
		<p>▶ （船橋市立医療センターの対応） 専門的な管理を行う医療機関として糖尿病外来を設置し、糖尿病教育入院を行い、糖尿病日帰り教室を実施している。また、合併症対応として糖尿病専門医と連携して「網膜症」「神経症状」「壊疽・壊死」等に対応している。（船橋市立医療センターHP）</p>
精神 （資料4参照）		<p>▶ （東葛南部保健医療圏） 精神疾患について、急性期治療については、基幹病院として国府台病院、千葉病院の2病院、救急輪番病院・措置輪番病院として6病院、救急輪番病院を1病院が行っている。身体合併症治療については、精神科病床を有する総合病院として、国府台病院1病院、精神科を有する総合病院4病院、内科医が常勤する精神科病院2病院が対応している。（千葉県保健医療計画）</p>
		<p>▶ （船橋市） 総武病院、千葉病院、船橋北病院が救急医療基幹病院・救急輪番病院として対応しており、上記の3病院に船橋市立医療センターと船橋二和病院の2病院を加えた5病院が統合失調症治療や気分障害（うつ病）治療のための入院精神療法を行っている。 また、身体合併症対応をしている病院は船橋市立医療センターと船橋二和病院の2病院である。（千葉県保健医療計画）</p>
		<p>▶ （船橋市立医療センターの対応） 外来診療については、精神神経疾患全般について診断と治療を行っており、うつ病、神経症性及びストレス性の障害、認知症など様々な障害について診療している。 病棟診療については、週3回の病棟リエゾン回診と毎日各病棟からのコンサルテーションに対応している。（船橋市立医療センターHP）</p>
6事業	救急医療	<p>▶ （東葛南部保健医療圏） 第三次救急医療体制については、心筋梗塞、脳卒中、頭部外傷等の重篤救急患者のための医療を提供する救命救急センターとして、地域医療の中核を担う船橋市立医療センター、順天堂大学浦安病院が対応している。</p>

		<p>第二次救急医療体制については、地域内の 30 の病院群輪番参加医療機関及び救急告示医療機関（平成 22 年 9 月現在）が休日・夜間等における救急患者の診療を受け入れている。初期救急医療機関として医療圏内に 8 つの休日夜間急患センターがある。（千葉県保健医療計画）</p> <p>▶ （船橋市） 初期救急として、平日であればかかりつけ医療機関、夜間や休日であれば船橋市夜間休日急病診療所や休日当番医が対応しており、朝や夕方など、診療所や船橋市夜間休日急病診療所の時間外は、救急医療機関ネットワーク当番病院が対応している。 二次救急として、夜間や休日に検査や入院治療を必要とする患者の診療を 9 病院（救急医療機関ネットワーク（二次救急待機病院））が輪番制で対応している。また、夕方（午後 5 時～午後 9 時）や早朝（午前 6 時～午前 9 時）の時間帯では初期診療も行っている。 三次救急として、二次救急では対応できない、生命に危険がある重篤な場合は、船橋市立医療センターが対応している。（船橋市 HP）</p> <p>（船橋市立医療センターの対応） 船橋市を中心とする東葛南部地域医療圏の三次救命救急センターとして機能している。また船橋市消防局・船橋市医師会と連携し船橋市救急車医師同乗システム（ドクターカー事業）を 24 時間 365 日運用しており、出動した症例の多くを当救命救急センターで受け入れている。救命救急センターは一次～三次救急まで幅広く患者を受け入れており、重症患者に対して ICU/CCU 8 床、ACU 7 床の他、後方支援病床として 28 床を備えている。（船橋市立医療センター HP）</p>
災害医療		<p>▶ （東葛南部保健医療圏） 災害時における県内の医療救護活動の拠点（地域災害拠点病院）となる船橋市立医療センター、八千代医療センター、市川総合病院、順天堂大学浦安病院が指定されている。また、DMAT 指定医療機関として船橋市立医療センター、順天堂大学浦安病院がある。（千葉県保健医療計画）</p> <p>▶ （船橋市） 被災地からの重症患者の受入機能、災害派遣医療チーム（DMAT）及び医療救護班の派遣機能等を備え、広域的な医療活動の拠点となる災害拠点病院として船橋市立医療センターが指定され、災害拠点病院とともに患者の受入れを行う救急病院（救急告示病院、病院群輪番制病院）11 箇所が災害医療協力病院として指定されている。（船橋市 HP）</p> <p>▶ （船橋市立医療センターの対応） 災害拠点病院、DMAT 指定医療機関の指定を受けており、電気設備、水道設備の強化及び備蓄、糧の改善を計画しているが、災害拠点病院としての機能を発揮するために、今後は免震構造等の整備が必要となる。</p>
へき地医療		<p>▶ 対象地域なし。</p>
周産期医療 （資料 4 参照）		<p>▶ （東葛南部保健医療圏） 総合周産期母子医療センターとして、八千代医療センター及び地域周産期母子医療センターとして船橋中央病院が指定・認定されている。（千葉県保健医療計画）</p> <p>▶ （船橋市） 地域周産期母子医療センター（船橋中央病院）、母体搬送ネットワーク連携病院（船橋市立医療センター）の他に、分娩を取り扱う一般病院が共立習志野台病院、船橋二和病院、山口病院の 3 病院、分娩を取り扱う有床診療所が 5 病院ある。（千葉県保健医療計画）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ▶ （船橋市立医療センターの対応） 分娩を取り扱う施設がスムーズに母体搬送ができるための母体搬送ネットワーク連携病院として指定・認定されている。
小児医療	<ul style="list-style-type: none"> ▶ （東葛南部保健医療圏） 小児初期救急センターや病院群輪番制方式による医療体制により、夜間、休日における小児の初期、二次の急病患者を受け入れる体制が確保されている。 三次救急医療については、全県（複数圏域）対応型小児医療拠点病院である八千代医療センターにより実施されている。また、小児救命集中治療ネットワーク連携病院（船橋市立医療センター、八千代医療センター、順天堂大学浦安病院）等により、重篤な小児救急患者に対する的確な医療を提供できるようなネットワークが構築されている。（千葉県保健医療計画）
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ （船橋市） 病院群輪番制参加病院のうち、小児救急に対応している病院が船橋市立医療センター、千葉徳洲会病院、船橋二和病院の3病院であり、休日夜間急患センターとして船橋市夜間休日急病診療所がある。（千葉県保健医療計画）
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ （船橋市立医療センターの対応） 二次医療圏で中核的な小児医療を実施する「地域小児科センター」、1歳から4歳の重篤な小児救急患者に対する的確な医療を提供する「小児救命集中治療ネットワーク連携病院」として、重篤な小児救急患者に対する救命処置・入院・手術等を行っている。
在宅医療 (資料4参照)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ （東葛南部保健医療圏） 当該医療圏では、在宅療養支援病院が板倉病院と滝不動病院の2病院、在宅療養支援診療所が62施設、在宅療養支援歯科診療所が14施設、在宅患者訪問薬剤管理指導料届出薬局134施設、訪問看護ステーションが38施設となっている。（千葉県保健医療計画）
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ （船橋市） 市内では、在宅療養支援病院が板倉病院と滝不動病院の2病院、在宅療養支援診療所が25施設、在宅療養支援歯科診療所が5施設、在宅患者訪問薬剤管理指導料届出薬局44施設、訪問看護ステーションが11施設となっている。（千葉県保健医療計画）
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ （船橋市立医療センターの対応） 地域がん診療連携拠点病院として、がん相談支援センターを設けて、自宅で療養生活を送るがん患者への支援等を行っている。